



ごあいさつ  
理事長 小川 俊

平素より、私ども「四国ろうきん」をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、ここにディスクロージャー誌「2018四国ろうきんの現況」をお届けいたします。

ろうきんは、働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合って創設した“働く人の夢と共感を創造する”協同組織の福祉金融機関であります。四国ろうきん誕生以来17年、激変する経営環境の中で着実に成果をあげ続けることができましたのも、会員各位をはじめ関係団体のご指導ご支援によるものであり、改めて感謝を申し上げます。

2017年度は、「第6期中期経営計画」と「第7期中期経営計画」を繋ぐ重要年度と位置付け「みらい創造革新」と「ろうきん・お役立ち宣言！（ありがとう祭）」をテーマに掲げて、改革施策の実行に取り組みました。

重点課題として、①経営戦略、②財務戦略、③CRM戦略、④営業戦略、⑤IT戦略、⑥コンプライアンス、リスク管理戦略、⑦人事戦略の7項目を掲げ、「四国ろうきんグループ」の発足やブロック営業体制の構築など未来へバトンを繋ぐ取り組みを積極的に行ってまいりました。

その結果、収支面では、経常利益6億18百万円の計画に対し10億23百万円となり、165.40%の達成、当期純利益4億11百万円の計画に対し7億34百万円となり、178.56%の達成率となりました。なお、自己資本比率は、11.00%となりました。

改めて皆様のご協力に感謝を申し上げます。

「第7期中期経営計画」をスタートする2018年度は厳しい金融環境の中、「第6期中期経営計画」の改革方針を引き継ぎ、オール四国の全体最適化を強力で進め、四国ろうきんグループ全体で経営資源を最効率・再配分し事業存続する計画の下、経営理念の実現と金融包摂を「高付加価値・お役立ち・提案営業」により実現し、ろうきんブランド力を向上させてまいります。

このディスクロージャー誌「2018四国ろうきんの現況」は、ろうきんの機能や役割、四国ろうきんの2017年度の業況等を取りまとめたものです。

本誌によって、私どもに対するご理解を一層深めて頂ければ幸いです。

2018年7月